

IIJ、日米回線を 290Mbps へ増強完了

1999年1月25日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)の保有する日米間の国際バックボーン回線が1月24日、245Mbpsから290Mbpsへ増強完了いたしました。

今回の増強は、大阪－New York間を45Mbpsから90Mbpsに増速することにより実現いたしました。東京－米国西海岸を結ぶ200Mbpsの回線とあわせ、IIJの日米回線は合計290Mbpsとなり、これは日米をつなぐインターネットバックボーン回線としては世界最大、最速の規模です。

IIJの保有する日米間国際バックボーン回線 (1月24日現在)

日本側	米国側拠点	回線帯域
東京	DIX	45Mbps
		155Mbps
大阪	NY-NAP	90Mbps(*)
合計		290Mbps

(*)：今回増強した回線

IIJは、1994年3月に初めて192kbpsの国際専用線を引いた当時から、4年10カ月で、約1500倍の国際回線の増強を実現致しました。今やIIJの保有する対米回線は、日本のみならず、アジア太平洋地域の激増するインターネット・トラフィックを支えるバックボーンとしての役割を担っています。

インターネットが情報インフラとして社会に定着したことに伴い、インターネットトラフィックは爆発的に伸びています。IIJでは引き続き、今春を目処に、更なる日米回線の増強を行う予定です。